

京都大学人文科学研究所共同研究最終報告書（終了）

1. 研究課題

（和文）漢簡語彙辞典の出版

（英文） Publication of the Dictionary on Han Wooden Slips

2. 研究代表者氏名

富谷至

3. 研究期間

2010年04月 - 2015年03月（5年度目）

4. 研究目的

漢代西北辺境より出土した、居延漢簡、敦煌漢簡にみえる語彙を網羅的に蒐集して、文献史料の用例、簡牘資料の用例をあげてその語義を確定し、その成果として『漢簡語彙辞典』を編纂、出版することを目的とする。

6. 研究成果の概要

本研究班の主目的である、居延漢簡・敦煌漢簡中の語彙辞典は、『漢簡語彙 中国古代木簡辞典』（岩波書店）として出版される。これにくわえ、辞書内の説明よりも踏み込んだ解説が必要だと思われる語義について、なぜそのような語義を導いたかという考証、および、漢簡や出土地域、当該時代の諸制度などにかんする解説をおこなった、語彙辞典の副読本というべき『漢簡語彙考証』（岩波書店）も出版する。

8. 共同研究会に関連した公表実績

本研究班の成果として、以下の二冊の著書が出版される（2015年3月25日出版予定）。『漢簡語彙 中国古代木簡辞典』（岩波書店、ISBN978-4-00-080318-2 C3581） 『漢簡語彙考証』（岩波書店、ISBN978-4-00-061026-1 C3081）

15. 研究成果公表計画および今後の展開等

8. 共同研究会に関連した公表実績を参照。